

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成26年2月13日 (2014.2.13)

【公表番号】特表2013-515573(P2013-515573A)
【公表日】平成25年5月9日 (2013.5.9)
【年通号数】公開・登録公報2013-022
【出願番号】特願2012-546163(P2012-546163)
【国際特許分類】

A 6 1 M 27/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 27/00

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月19日 (2013.12.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

組織部位に減圧治療を適用する減圧治療システムにおいて、
キャニスタであって、

少なくとも 1 つの壁によって画定される液体収集チャンバと、
前記少なくとも 1 つの壁内に形成された第 1 気体連通路と、
前記少なくとも 1 つの壁内に形成された第 2 気体連通路と、

前記第 1 気体連通路と前記液体収集チャンバとの間に配置され、前記液体収集チャンバと前記第 1 気体連通路との間の気体の連通を可能にする第 1 開口部と、

前記第 2 気体連通路と前記液体収集チャンバとの間に配置され、前記液体収集チャンバと前記第 2 気体連通路との間の気体の連通を可能にする第 2 開口部と、

前記第 1 開口部内を液体が通過するのを実質的に防止するように前記第 1 開口部の上に配置された第 1 液体 - 空気分離体と、

前記第 2 開口部内を液体が通過するのを実質的に防止するように前記第 2 開口部の上に配置された第 2 液体 - 空気分離体と、

を備えるキャニスタと、

前記キャニスタと流体連通して、前記液体収集チャンバに減圧を送達する減圧源と、

前記液体収集チャンバと流体連通し、前記減圧を前記組織部位に分配するように前記組織部位に配置されたマニホールドと、

を具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記少なくとも 1 つの壁が第 1 壁を含み、前記第 1 気体連通路が前記第 1 壁内に形成され、

前記少なくとも 1 つの壁が第 2 壁を含み、前記第 2 気体連通路が前記第 2 壁内に形成されることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 3】

請求項 2 に記載の減圧治療システムにおいて、前記第 1 壁が前記第 2 壁に対向することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 4】

請求項 2 に記載の減圧治療システムにおいて、前記第 1 壁が前記第 2 壁に隣接することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 5】

請求項 1 に記載の減圧治療システムにおいて、前記少なくとも 1 つの壁が円筒形状であることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 6】

請求項 1 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記キャニスタが、

前記第 1 気体連通路および前記第 2 気体連通路に流体連結されたマニホールドチャンバと

、
前記マニホールドチャンバに流体連結された減圧ポートと、
をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 7】

請求項 1 に記載の減圧治療システムにおいて、前記キャニスタが、前記液体収集チャンバ内に配置された吸収性パッドをさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 8】

組織部位に減圧治療を適用する減圧治療システムにおいて、

キャニスタであって、

液体収集チャンバを形成する複数の壁と、

前記複数の壁のうちの第 1 壁および第 2 壁内に形成された気体連通路と、

前記気体連通路と前記液体収集チャンバとの間の前記第 1 壁に配置された第 1 開口部と、

前記気体連通路と前記液体収集チャンバとの間の前記第 2 壁に配置された第 2 開口部と、

前記第 1 開口部および前記第 2 開口部の各々を覆う液体 - 空気分離体と、
を備えるキャニスタと、

前記キャニスタと流体連通して、前記液体収集チャンバに減圧を送達する減圧源と、

前記液体収集チャンバと流体連通し、前記減圧を前記組織部位に分配するように前記組織部位に配置されたマニホールドと、
を具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の減圧治療システムにおいて、前記第 1 壁が前記第 2 壁に対向することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 10】

請求項 8 に記載の減圧治療システムにおいて、前記第 1 壁が前記第 2 壁に隣接することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 11】

請求項 8 に記載の減圧治療システムにおいて、前記気体連通路が、カバーによって覆われた前記第 1 壁および前記第 2 壁の凹部であることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 12】

請求項 8 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記キャニスタが、

前記気体連通路に流体連結されたマニホールドチャンバと、

前記マニホールドチャンバに流体連結された減圧ポートと、

をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 13】

請求項 8 に記載の減圧治療システムにおいて、前記キャニスタが、前記液体収集チャンバ内に配置された吸収性パッドをさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 14】

組織部位に減圧治療を適用する減圧治療システムにおいて、

キャニスタであって、

液体収集チャンバを形成する複数の壁であって、各々が内面および外面を有する、複数の壁と、

前記外面に第 1 凹部が形成されている、前記複数の壁のうちの第 1 壁と、

前記外面に第 2 凹部が形成されている、前記複数の壁のうちの第 2 壁と、

第 1 空間を形成するように、前記第 1 凹部の上に配置された第 1 カバーと、

第 2 空間を形成するように、前記第 2 凹部の上に配置された第 2 カバーと、

前記第 1 空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第 1 壁に配置された第 1 開口部と、

前記第 2 空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第 2 壁に配置された第 2 開口部と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 1 壁の前記第 1 開口部から前記第 1 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 1 液体 - 空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 2 壁の前記第 2 開口部から前記第 2 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 2 液体 - 空気分離体と、

前記第 1 空間および前記第 2 空間に流体連結された減圧ポートと、
を備えるキャニスタと、

前記減圧ポートと流体連通して、前記液体収集チャンバに減圧を送達する減圧源と、

前記液体収集チャンバと流体連通し、前記減圧を前記組織部位に分配するように前記組織部位に配置されたマニホールドと、
を具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 15】

請求項 14 に記載の減圧治療システムにおいて、前記第 1 壁が前記第 2 壁に対向することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 16】

請求項 14 に記載の減圧治療システムにおいて、前記第 1 壁が前記第 2 壁に隣接することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 17】

請求項 14 に記載の減圧治療システムにおいて、前記キャニスタが、前記液体収集チャンバ内に配置された吸収性パッドをさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 18】

請求項 14 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第 1 空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第 1 壁に配置された第 3 開口部と、

前記第 2 空間および前記液体収集チャンバを流体連結するように、前記第 2 壁に配置された第 4 開口部と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 1 壁の前記第 3 開口部から前記第 1 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 3 液体 - 空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 2 壁の前記第 4 開口部から前記第 2 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 4 液体 - 空気分離体と、

をさらに具備することを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 19】

請求項 18 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第 1 液体 - 空気分離体および前記第 2 液体 - 空気分離体が同一平面上にあり、

前記第 2 液体 - 空気分離体および前記第 4 液体 - 空気分離体が同一平面上にあることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 20】

請求項 14 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第 1 凹部が実質的に L 字型であり、前記第 1 凹部の頂点領域において第 2 脚部と交差する第 1 脚部を含み、

前記第 1 開口部が前記第 1 凹部の前記頂点領域に配置され、
前記第 2 凹部が、形状が実質的に矩形であり、第 1 端部および第 2 端部を含み、
前記第 2 開口部が前記第 2 凹部の前記第 1 端部に配置され、
前記キャニスタが、

前記第 1 凹部の前記第 1 脚部の前記頂点領域と反対側に配置された第 3 開口部と、
前記第 1 凹部の前記第 2 脚部の前記頂点領域と反対側に配置された第 4 開口部と、
前記第 2 凹部の前記第 2 端部に配置された第 5 開口部と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 3 開口部から前記第 1 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 3 液体 - 空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 4 開口部から前記第 1 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 4 液体 - 空気分離体と、

前記液体収集チャンバからの液体が前記第 5 開口部から前記第 2 空間に入るのを実質的に防止するように配置された第 5 液体 - 空気分離体と、

をさらに備えることを特徴とする減圧治療システム。

【請求項 21】

請求項 20 に記載の減圧治療システムにおいて、

前記第 1 開口部が、前記第 1 液体 - 空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの 1 つであり、

前記第 2 開口部が、前記第 2 液体 - 空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの 1 つであり、

前記第 3 開口部が、前記第 3 液体 - 空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの 1 つであり、

前記第 4 開口部が、前記第 4 液体 - 空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの 1 つであり、

前記第 5 開口部が、前記第 5 液体 - 空気分離体によって覆われた複数の開口部のうちの 1 つであることを特徴とする減圧治療システム。